

和木 ぶんか

WAKI Culture

6.1
June 2014
平成26年
No.44



第1回和木町絵画美術展覧会

和木町長賞 岩国市 柏木 果歩さん「雨」

特集記事

二階堂 和美インタビュー

第1回和木町絵画美術展覧会

展覧会の様子、主な受賞者と作品

イベント紹介

「だいだいの空」「オーロラの大地から」

茅原ゆかり写真展レポ

「egmont nature～デンマークで過ごした一年間の記録～」

行事報告

WAKIコンサート2013、新春書き初め会展示会、
はっち弦楽合奏団発表会

平成26年度 和木町文化協会事業計画

ながら、音楽活動を続けています。

一番最近では春休み中、姪っ子と一緒に合ってディズニー映画の「アナと雪の女王」を見に行きました。

最近見たテレビ・映画、感銘を受けた本など

お隣の大竹市に生まれ育ちました。大学で山口に6年間、その後音楽活動をするために上京し、東京で6年間過ごした後、2014年に大竹の実家に戻ってきました。実家は浄土真宗本願寺派のお寺です。それからは僧侶の仕事も手伝わせてもらいました。

お隣の大竹市に生まれ育ちました。大学で山口に6年間、その後音楽活動をするために上京し、東京で6年間過ごした後、2014年に大竹の実家に戻ってきました。実家は浄土真宗本願寺派のお寺です。それからは僧侶の仕事も手伝わせてもらいました。

ご自身のことについて、お聞かせください

食べ物は、嫌いなもの、食べれないものはほとんどありません。よく食べる方だと思います。ごはんが好きです。魚のおいしい瀬戸内育ちですから、魚全般、小イワシのお刺身とか、アジのたたきとか、アサリの酒蒸しとか。お酒はあまり強くありませんが好きです。ビール一杯で酔っぱらいます。

音楽を始めたのはいつから?

小学校の吹奏楽で小太鼓

を、中学校の吹奏楽でフルートをやつっていましたが、どちらもやめてしまっていた高校2年のとき、ロックバンドのボーカルに誘われバンド活動を始めました。大学で軽音楽同好会に入り、主に英語の歌を歌っていました。そのうち手探りで作詞作曲を始めました。

最近、二階堂さんの周りで変わったことは?

子どもが生まれたことに尽きます。

ジブリ映画の歌姫

二階堂 和美さんが 「和木ぶんか」に登場

ジブリ映画「かぐや姫の物語」の主題歌「いのちの記憶」で、今注目されている二階堂和美さんにお話を聞きました。

趣味・余暇・家族・ペット・好きな食べ物は?

した。よく出来ているなあと思いました。テレビはあまり見ていません。

のにかく時間が足りないというものが一番で、やっている内容そのものの両立には今は苦労を感じていません。ただ、全国や海外などへコンサートツアーオの誘いを頂いても、お寺は留守にしにくいですし、どうしてもお通夜や葬儀というのは突然に入ってくるので、ツアーノの予定が立てにくいというのが一番残念なところかもしれません。

家のことをするのが好きです。工作とか繕い物とか。余暇があれば、今は遊びよりも部屋のあちこちを片付けたいです。

子どもの頃はどんな子どもでしたか?

夫が私の実家で両親と母方の祖母と一緒に暮らしてくれています。昨年娘が生まれました。またすぐに姉の家族も住んでいるので、甥っ子や姪っ子も「おばあちゃんち」であるうちにしようつちゅう来ているので、大家族でやんやんやしながらの毎日です。

でも樂器の練習が嫌いで、ピアノを習わせてもらっていましたが、全く上達せずに終わってしまいました。今も弾けませんし、音符もまともに読めません。

音楽を始めたのはいつから?

小学校の吹奏楽で小太鼓

動いている景色を見ているときに生まれやすいです。新幹線に乗つてる時とか、車を運転している時とか。思いつきそうと思つたらレコーダーを回して曲の断片を歌つて録音しておきます。

曲は、パッと出来るものなのですか?

出来る時は集中してぱっと出来ますが、よほどその気にならないと作りません。1年間一曲も作つていない、という年もざらにあります。

子どもが生まれたことに尽きます。



二階堂 和美 路歴
Nikaido Kazumi

1974年広島県大竹市生まれ。現在は広島県大竹市に在住。アルバム『にかたま』『たね!』『またおとしましたよ』『二階堂和美のアルバム』『Nikaido kazumi U.S.tour 2003』『ニカセトラ』『にじみ』、NHK『おかあさんといっしょ』に「ショキ ショキ チョン」や小泉今日子のアルバム『Koizumi Chansonnier』に楽曲を提供。2013年11月公開のスタジオジブリ制作映画『かぐや姫の物語』の主題歌「いのちの記憶」として2013年7月にシングル、11月にはアルバム『ジブリと私とかぐや姫』を発表。

畠塚さんや宮崎駿さんが制作され
てから、ジブリという会社になる前に高

い
今回、ジブリ映画『かぐや姫の物語』
のテーマソングを担当されました
が、ジブリ映画との出会いは?

曲を作るにあたり、重要なことは?
私が大事にしていることは、言葉をあてる場合は、耳できいてそのまま聞き取れるということです。またメロディもあまり奇をてらわないようになります。どこかで聞いたことがあるような・・・と思つても、あまり気にしないようにしています。また、歌詞が先、メロディが先、とかではなくて、歌詞もメロディもなるべく同時に出すようにしています。そのほうがその言葉に対して自然なメロディがついてくるからです。語るようになります。



▲お子さんとご一緒に
二階堂さん(左)

ていた「アルプスの少女ハイジ」や「赤毛のアン」などのテレビニアメです。子供心にとても影響を受けています。

また、担当される
キッカケになったのは?

曲を作るにあたり、重要なことは?
私が大事にしていることは、言葉をあてる場合は、耳できいてそのまま聞き取れるということです。

監督の高畑勲さんは音楽がとてもお好きな方で、といつても普段は専らクラシック音楽しか聞かれないと。そのうですが、私の2011年に発表した『にじみ』というアルバムをたまたま新聞記事で知つて興味を持つてくださったそうです。それでご自身で買って、とても丁寧に聞き込んでくださっています。そのときは映画の主題歌を探していたわけではなかつたそうですが、2012年の秋に、私の方に「映画のエンディングに流れる曲を作つて歌つてほしい」というご依頼がありました。

お話を頂いたとき、姫がこの世に生を受け、ある日突然に去つてゆくそのストーリーも、エンディング曲という役割も、おこがましいようですが、まさに私にうつ

つけの役目だと思いました。監督からは、「映画を見終わつた方はやりきれない気持ちになるだろう、それはそのまま引きずつていくしかないけれど、席を立つまでの間で気持ちを整理出来る様な歌を」と言われました。それは普段僧侶として人の臨終に立ち会うことであります! 大和橋からオレンジ橋までの川沿いをくるりと回る散歩コースが好きです。

和木町の皆さんにメッセージを!

おとなりの大竹、その中でも小瀬川沿いに生まれ育つた私にとっては、和木町はもはやわが町と同じくらいに身近に感じています。「和木町に上陸」とポスターに書いて頂いていますが、すぐそこには、和木町に上陸して、どこかでお会いしたたらお気軽に声をかけてくださいね。



▲和木小学校の卒業式にサプライズ出演

「いのちの記憶」に対する思いは?
お話を頂いたとき、姫がこの世に生を受け、ある日突然に去つてゆくそのストーリーも、エンディング曲という役割も、おこがましいようですが、まさに私にうつっていました。

今回初めて和木町でのコンサートとなりますが、和木町の印象は?

ホーリーや美術館などもしっかりとありました。蜂が峰公園や駅

など、とても豊かで住み良さそうな町という印象を持っています。うちからだと大竹駅へ行くのも和木駅に行くのも同じくらいなので、荷物の多い時はエレベーターのある和木駅をよく利用させてもらつています! 大和橋からオレンジ橋までの川沿いをくるりと回る散歩コースが好きです。

和木町の皆さんにメッセージを!
おとなりの大竹、その中でも小瀬川沿いに生まれ育つた私にとっては、和木町はもはやわが町と同じくらいに身近に感じています。「和木町に上陸」とポスターに書いて頂いていますが、すぐそこには、和木町に上陸して、どこかでお会いしたたらお気軽に声をかけてくださいね。

これから目標、抱負などをどうぞ
とにかく日々の生活を大事にしたいです。その中にこそ大事なものがたくさんあると思っています。歌も歌つていただきたいですが、しばらくはなるべく子育てにしつかりと向き合いたいですね。

第1回 和木町絵画美術展覧会

主催 / 和木町文化協会 後援 / 和木町・和木町教育委員会



柏木 果歩さん



嘉藤 梢さん



久本 徳夫さん



筒 豊さん

和木町制施行40周年記念行事として
「第1回和木町絵画美術展覧会」が、3月
9日～3月23日まで、開催されました。



「緑の風薫る文化の町」和木町では、
初心者の方には初めての発表の場として、経験者の方には飛躍の場として、広く多くの人々から作品を公募審査、展示をし、またその作品を鑑賞することで、芸術文化の振興と向上を目指すものです。

作品公募総数186点の中から、入賞入選作品146点を展示、入賞者は賞状と副賞が贈呈されました。

初日は、表彰式と審査員秋山 泉・田谷行平氏によるギャラリートークがあり、多くの来場者で賑わいました。

「どの作品も素直に描かれていて、物に対する想いがしっかりと表現できており、一定のレベル以上だ」との審査講評をいただきました。

技法も多岐にわたり、多くの来場者が「見応えのある素晴らしい作品ばかりだ」と見入っておられました。出品された皆様の一層のご精進を期待するとともに、ご観覧いただいた皆様に心のうるおいと豊かさを感じいただき、これを機会に、一人でも多くの方が絵画に興味を持ち、学ぶきっかけになればと願っています。

第1回和木町絵画美術展覧会 入賞作品

【和木町長賞】「零」岩国市 柏木 果歩さん（表紙写真）

【町議会議長賞】



「クリスタルの刻」
岩国市 嘉藤 梢さん

【教育長賞】



「蘇った海」
岩国市 久本 徳夫さん

【文化協会会长賞】



「無題」
和木町 筒 豊さん

高校生特別賞



「静物画」
岩国工業高校 繁元 孝弘さん



「立場逆転」
岩国総合高校
齋藤 麻優さん



「よる」
岩国高校広瀬分校 林 園佳さん



「たこつぼと貝」
岩国高校坂上分校 村川 拓也さん



「プールサイドから」
岩国高校 安藤 樹希さん

NEXT EVENTS

「だいだいの空」 8月30日(土) 開場12:30 開演13:00 和木町文化会館

～子ども参加型お芝居～ ステージと観客が一体となる演劇公演

～あらすじ～

昭和22年のとある町、文蔵じいさんはふとしたはずみで井戸に落ち、平成24年の東京へタイムスリップします。そこで知り合った大和とさくらと奇妙な交流が始まりました。

ところがある日、さくらがあの時空を超える井戸に落ちてしまい、あわてて大和と文蔵じいさんも後を追います。昭和の時代に戻った3人の運命は…。

「かごめかごめ」「とおりやんせ」「手つなぎおに」「ろくむし」「竹とんぼ」などなど昔あそびがたくさん出てきます。懐かしいと感じる大人たちも、馴染みのない子供たちも一緒に童心に帰って楽しめましょう！

「オーロラの大地から」

フォトライブ 9月27日(土)

和木美術館

写真展 9月27日(土)～10月13日(月)

「一度きりの人生。悔いのないように、
自分の好きなことを思う存分やりたい」～松本紀生～



アラスカ写真家松本紀生さんのフォトライブと写真展が和木美術館で開催されます。去る3月23日放送の「情熱大陸」でも取り上げられ、奇跡の赤いオーロラを一人追い続ける姿は大きな反響を呼びました。



松本さんは、人生を模索していた大学生の頃、故・星野道夫氏の著書に出会い、アラスカへ渡り写真家になることを決意しました。アラスカ大学に編入し、アラスカの自然や人々について学ぶかたわら、独学で撮影技術やキャンプスキルを習得。現在は1年の半分をアラスカの原野や無人島で過ごしながら自然の撮影に専念されています。日本滞在の貴重な時間の中、和木町でフォトライブを開いてくれることになりました。

松本さんが20年間アラスカの写真を撮り続けて体感した、大自然の厳しさ、素晴らしさ、また奇跡と呼ばれる赤いオーロラとの遭遇など、興味深いお話が盛りだくさんです。

是非、日本では見られない幻想的な風景に会いにおいでください！



egmont nature

～デンマークで過ごした一年間の記録～

yucari kayahara 写真展

広島市 galleryGにおいて



茅原ゆかりさん（和木町瀬田）

成人式の2週間後に交通事故に遭った茅原ゆかりさんは、回復後も高次脳機能障害に苦しみ、そんな中で出会ったデンマークにあるエグモント・ホイスコーレン校に入学しました。

ここは18歳以上の成人を対象とした全寮制のフリースクールで、障がいのある生徒と障がいのない生徒が共同生活をして学んでいる所。障がいがあってできないところをできる人がサポートし、いろいろな事を一緒に体験して対話を重ねて一つの願いをみんなで叶えます。みんな笑顔でゆったりとした時間が流れる空間に身を置いているうち、焦りの気持ちが消え、自分が自分でいられるように思えたそうです。

デンマークで過ごした一年の記録写真展では、そうした生活のひとこまを輝く笑顔で語ってくれました。

ここで体験を経て茅原さんは、美術を通して一人一人が最高の笑顔でいられるように、またそんな場所を作れるようにと、現在臨床美術士の道を歩み始めています。



行事報告

12/14 土

『WAKIコンサート2013』

和木町文化会館

今年も「WAKIコンサート2013」が和木町文化会館で催され、各団体が練習の成果を発表しました。

1/5 日

『新春 書初め会展示会』

和木町文化会館

毎年恒例の「新春 書き初め会展示会」が1月5日和木文化会館で催されました。

5/11 日

『はっち弦楽合奏団発表会』

和木町文化会館

はっち弦楽合奏団の発表会が催され、森脇恵厘花さんをはじめとする合奏団のみなさんの美しい音色が会場に響きました。

平成26年度 事業計画

6月1日(日)	かおり会「民謡の祭典」	コミュニティセンター
6月6日(金)～8日(日)	和木美術クラブ 第16回絵画作品展	美術館
6月15日(日)	第30回 カラオケ同好会発表会	文化会館
6月25日(水)	二階堂和美コンサート	文化会館
7月27日(日)	第4回 キッズ芸能祭	文化会館
8月24日(日)	みんなで楽しむ和太鼓	文化会館
8月30日(土)	だいだいの空	文化会館
9月27日(土)	オーロラの大地から フォトライブ	美術館
9月27日(土)～10月13日(月)	オーロラの大地から 写真展	美術館
9月28日(日)	ふれ愛コンサート	文化会館
10月16日(木)～11月16日(日)	文化祭展示会	美術館
11月9日(日)	文化祭芸能祭	文化会館
11月	Band Meeting in WAKI vol.18	文化会館
12月13日(土)	WAKIコンサート2014	文化会館
1月上旬	新春書初め会	和木中学校体育館
1月下旬	新春書初め会 展示会	美術館
2月8日(日)	新春 舞い初め会	文化会館
3月	第2回 和木町絵画美術展覧会	美術館



二階堂和美コンサート
Nikaido Kazumi in 和木
共演:ドリーム☆WAKI、四境太鼓

日 時 2014年6月25日(水)
開場/18:30 開演/19:00
会 場 和木町文化会館 入場料 2,000円
(前売り券 1,500円)
<お問い合わせ> 和木町文化協会 tel : 0827-52-2191

第2回 和木町絵画美術展覧会 作品募集

展示期間 平成27年
3月15日(日)
～3月29日(日)

表彰式 3月15日(日)

会場 和木町和木美術館

出品資格 一般(高校生以上)

出 品 料 1点につき1,000円
(高校生無料)

【作品企画】 絵画10号以下
(53.0cm×53.0cm)
油彩、水彩、パステル、
アクリル等

○搬入:平成27年3月 7日(土)
○搬出:平成27年3月29日(日)
※直接、和木美術館に搬入搬出
できる方に限ります。

〒740-0061 山口県玖珂郡和木町和木2丁目15番1号
和木町総合コミュニティセンター内 文化協会事務局 あて
TEL(0827)52-2191※8:30～17:15まで FAX(0827)52-5200